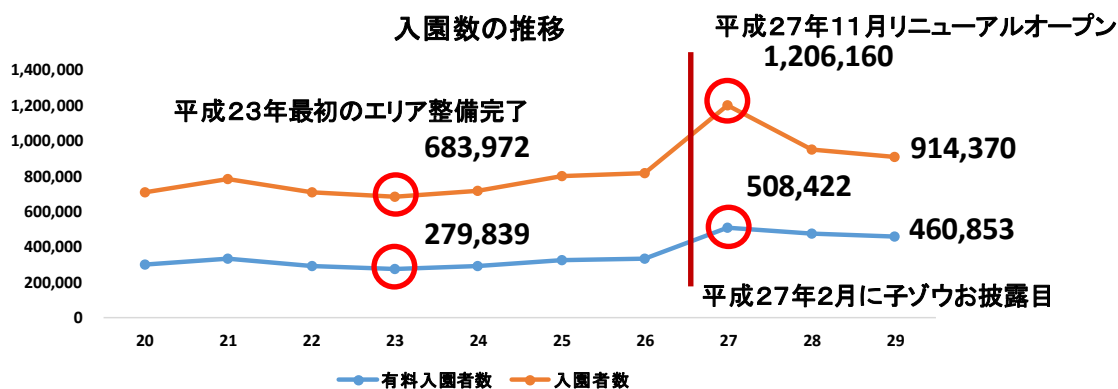


京都市動物園における入園者数の現状について



最初のエリア整備（おとぎの国）が完了した平成23年度以前は、総入園者数がほぼ70万人前後で推移していた。このことから、動物園に来園される方の基礎数字（固定客）は、毎年70万人前後であると思われる。

その後、新しい施設の供用開始が徐々に行われた平成23年以降は、来園者数が増加し、リニューアルオープンを行った平成27年度にはピークである120万人に達した。これは、新しい施設が全面的に供用開始したことのみならず、平成27年2月にラオスから来園した4頭のゾウのお披露目（来園は平成26年11月）による人気によるものと思われる。なお、園内で実施したアンケート調査から、来園者のうち約半数が本園に2回以上来園されている方々で、更にそのうちの4割の方が5回以上来られていることが分かっている。

平成27年以降は、他の類似施設と同様に、リニューアル効果の減少や、目玉の新規動物の来園がないことにより徐々に来園者数は減少しているが、インバウンドの増加等もあり、リニューアル以前の来園者数に比べて高い水準で推移している。